

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和3年度 第1回 入間市いじめ問題調査審議会
開 催 日 時	令和3年10月22日(金) ・ 午前14時30分 開会 ・ 午後15時30分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 C棟 第4委員会室
議 長 氏 名	早稲田大学 教授 榎原 伸一
出席委員(者)氏名	早稲田大学 教授 榎原 伸一 東京家政大学 教授 宮島 祐 弁護士 下永吉 純子 元 入間市立中学校長 大室 重喜
欠席委員(者)氏名	狭山ヶ丘高等学校理事長兼校長 小川 義男
説明者の職氏名	学校教育課 主幹 小椋 亮太
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 あいさつ 3 委員自己紹介並びに事務局職員自己紹介 4 議事 (1) 入間市いじめ問題調査審議会について(資料1) (2) 入間市いじめ防止基本方針について(資料2) (3) 入間市のいじめの現状について(資料3) (4) 入間市のいじめ問題に対する対策について(資料4・5) 5 その他 6 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0 人
配 布 資 料	入間市いじめ問題調査審議会委員名簿 入間市いじめ問題調査審議会条例 } (資料1) 入間市いじめ問題調査審議会運営要領 } 入間市いじめ防止基本方針 (資料2) 入間市のいじめの現状 (資料3) いじめ問題に対する取組について (資料4) 「いじめ防止に取り組む強化期間」報告 (資料5) 事例 (資料6)

事務局職員職氏名	教育長 教育部長 教育部次長 教育部参事兼学校教育課長 主幹 主幹	中田 一平 浅見 嘉之 片寄 貴之 遠藤 敏 小椋 亮太 高嶋 裕子
会議録作成方法	要点筆記	

会議録（２）

議事の概要（経過）・決定事項

- 1 開会 (事務局 遠藤参事)
- 2 あいさつ (会長 榑原伸一) (中田教育長)
- 3 委員自己紹介並びに事務局職員自己紹介
- 4 議事 (事務局 小椋主幹)
 - (1) 入間市いじめ問題調査審議会について (資料1)
 - ①説明
 - ②質疑 (0件)
 - (2) 入間市いじめ防止方針について (資料2)
 - ①説明
 - ②質疑 (1件)
 - (3) 入間市のいじめの現状について (資料3)
 - ①説明
 - ②質疑 (5件)
 - (4) 入間市のいじめ問題に対する対策について (資料4・5)
 - ①説明
 - ②質疑 (1件)
- 5 その他 (事務局 小椋主幹)
- 6 閉会 (事務局 遠藤参事)

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
榑原議長	<p>議事（１）入間市いじめ問題調査審議会について（資料１）</p> <p>（事務局より説明：学校教育課 主幹 小椋）</p> <p>ただいまの説明に御意見、御質問等がございますか。</p> <p>（全員なし）</p>
榑原議長	<p>議事（２）入間市いじめ防止基本方針について（資料２）</p> <p>（事務局より説明：学校教育課 主幹 小椋）</p> <p>ただいまの説明に御意見、御質問はございますか。</p>
榑原議長	<p>14 ページの下線部は、修正が行われたというものでしょうか。</p>
小椋主幹	<p>一昨年度から昨年度にかけて、変更・修正されたものでございます。</p>
榑原議長	<p>議事（３）入間市のいじめの現状について（資料３）</p> <p>（事務局より説明：学校教育課 主幹 小椋）</p>
榑原議長	<p>ただいまの説明に、御意見、御質問はございますか。</p>
宮島委員	<p>国の方も、「コロナのことで接触が減っている。」との見解を出しているが、逆に、今後増え続ける危険性を感じながら、さらに対策を考えなければならぬと思う。接触が増えていった場合に、例えば医療機関に従事している家族の子どもたちが、コロナに起因するいじめ被害に遭っているというようなマスコミの記事もある。入間市では１件ということだが、今後の対策と合わせてご留意いただきたい。</p> <p>もう１点は、入間市では０歳児から１５歳までのフォローアップ体制が整っていて、大変素晴らしいと思っておりますが、今の話からすると１５歳で終わりということ、これは仕方ないことであるが、発達障害の視点から見ると、トラウマの問題がある。これは幼少期にいじめられた子が社会生活を営めるかどうか、我々の学会でも大きな問題となっている。そのようなことに注目してのフォローアップ体制は、どのような形になっているか教えていただければと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
遠藤参事	<p>本市では15歳以上、高校生になった子どもたちが18歳になった段階で、どのような進路をたどっているかは、続けて調査を行っています。</p> <p>今年度も51校の高校に調査をお願いし、1300人に調査をかけたところ、1100人からの回答がありました。その中で、中退者数はかなり減っています。中退する要因にあたっては、「一身上の都合」は減り、本人が悩んだ末の「進路変更」という理由が出てきている。いじめやトラブル等の理由はあがってきていない。</p>
宮島委員	<p>入間市の良さは、「生まれた時からフォローする体制を作ろうとする」ところだと思います。他の自治体では苦勞しているところもあり、発達障害に起因する問題では、医療機関（小児科医）でもフォローアップのところに係る難しさを感じている。市として、これだけのデータを集めているので、引き続き活用していただきたい。</p>
榊原議長	<p>高校生の進路に関する調査は継続しているといことでよろしいですか。</p>
遠藤参事	<p>平成27年度から、「こども未来事業」の一環として、高校卒業後、どのような進路（4年制大学・短大・専門学校・就職・中退）をたどったか、の調査をかけている。初めは中退率も目立ったが、ここ数年は減ってきている。</p>
榊原議長	<p>「中退」と「いじめ・発達障害」と関連性をつけた形でアンケート調査するのは難しいと思うが、例えば、中学生でいじめを受けた子どもたちが、どのような進路をたどっていくのかがデータで出ると、その後の方策にもつながると考える。</p>
大室委員	<p>放課後子ども教室のスタッフの話によると、最近、季節感のない服装や明らかにサイズの違うものを着ている子供がいるとのこと。新聞には「子どもの貧困」という記事もあり、7人に1人が該当するというショッキングな数字も出ていた。市内では「子どもの貧困」が原因でいじめに遭ったという事例があるのかを知りたい。</p>
小椋主幹	<p>平成31年の調査では、市内の小中学生のうち、7、8%の児童生徒が</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>「生活的に困難である」に該当した。また、今年度のヤングケアラー調査では、小学生で4、5%、中学生で2、3%の児童生徒が該当している。現在、貧困を理由にした具体的な事例はないが、外見上「身なりが汚い」「不潔っぽい」という理由でいじめられたという案件はある。しかし、その子が「生活困難層」であるかどうかは明らかではないが、関連性があるのかもしれない。</p>
榑原議長	<p>子どもたちの現状をしっかりと捉えて、万全な対策をとってほしい。</p>
	<p>7、8%の児童生徒が「生活困難である」と答えたことに驚いたが、これは自己申告制なのではしょうか。</p>
小椋主幹	<p>様々な調査方法があり、例えば「世帯収入別」や「家庭人数別」によっても困難度は変わってくるため、一概に自己申告というものではない。</p>
榑原議長	<p>他の自治体と比べて多いのでしょうか。</p>
小椋主幹	<p>全国平均は13、5%となっており、全国平均と比べると入間市は若干低いといえます。</p>
榑原議長	<p>議事（4）入間市のいじめ問題に対する対策について（資料4・5） （事務局より説明：学校教育課 主幹 小椋） ただいまの説明に御意見、御質問等はございますか。</p>
榑原議長	<p>成果と課題について（2）③ネットいじめ・ネットトラブルについての質問ですが、オンライン授業が増えたことによって、子どもたちがオンラインやウェブツールをかなり使いこなしていると思うが、それと付随してネットトラブルが認知されるようになってきているか。</p>
小椋主幹	<p>現在、本市が配付したタブレットによるネットいじめ発生の報告はありません。子どもたちは、我々教員が想定している以上に、タブレットを有効に活用している。また、ネットに対する知識も教員以上に豊富ではあるが、正しい使い方についても継続して啓発活動を行っていきたい。</p>
榑原議長	<p>議事（1）～（4）が終了しましたので、議長をおろさせていただきます。</p>

